

日本鐵鋼協會記事

1. 昭和 25 年度第 2 回理事會及第 1 回編集委員會 日時：25—3—25 (土) 13時～15時，會場：協會々議室，出席者：(會長)山岡武，(副會長)志村清次郎，(理事)芥川武，繪野澤喜之助，橫山均次，(監事)田中清治(常務委員)石田四郎，石原善雄，(編集委員)伊木常世，長谷川正義，安田洋一，吉田道一，(主事)金谷三松
協議事項 (1) 講演大會準備(司會者，會場係，分擔，幻燈及米軍耕農場行バス，2 日夕懇親會實施)の件。(2) 4 月 1 日本年度第 1 回東京地方講演會(米國に於ける冶金工場管理について—連合軍司令部天然資源局冶金課長 R. L. Kidd 氏及 E・S・S 御提供映畫アロイスチール) 開催の件 承認。(3) 通常總會及表彰式實施の方法 決定。(4) 昭和 25 年 7 月號原稿選定。
2. 日本鐵鋼協會第 35 回通常總會及第 39 回講演大會 日時：25—4—2，11時 30 分～12 時，會場：東大第一工學部第 2 號館第 21 號教室，出席人員：(當日出席正會員 185 名・委任出席者 4,069 名) 總計 4,254 名。議事 (1) 改選役員選舉(會長より選舉監視人として梅津七藏君・垣内富士雄君・監事笹部誠君三君を指名依頼あり) 決定。理事 5 名新選(4 名留任)，評議員 50 名改選(3 名留任補缺)以上原案通り可決。(2) 定款及實施細則中改正の件。(3) 昭和 24 年度會務報告。(4) 昭和 24 年度收支決算報告。(5) 昭和 25 年度收支豫算報告，以上何れも満場一致(異議なし，賛成の聲及び拍手あり) 原案可決。(6) 表彰式 豫定通り終了。
以上原案は全て 1. 2 月號に掲載済みなるにより略之。
(7) 第 35 回講演大會(日本金屬學會と連合)

日時	第 1 日	25—4—2 (日)	9 時～17 時 25 分	講演會出席者	534 名
	第 2 日	25—4—3 (月)	9 時～17 時	〃	640
	第 3 日	25—4—4 (火)	見學		214/369
	第 4 日	25—4—5 (水)	〃		144/299
	出席申込者			合計	742 名
	講演申込者(鐵鋼) 123 名 (内 14 名は金屬學會會場にて講演)				
	(金屬) 241 名 (内 56 名は鐵鋼協會々場にて講演)				
3. 昭和 25 年度第 3 回理事會 日時：25—4—2，13時～13時 30 分，會場：東大第一工學部第 2 號館會議室，出席者：(會長)山岡武，(理事)田中清治，芥川武，繪野澤喜之助，太田慶藏，岡本正三，菊池浩介，佐々木吉備三郎，笹部誠，(主事)金谷三松。協議事項：(1) 新會長の選舉の件 決定。田中清治君當選。(2) 秋季大會は金屬學會と連合して 9 月 23，24 日札幌市にて開催のこと(本件は二日夜晩餐會々場にて決定のもの)。(3) 4 月 3 日 講演大會終了後直に「ブリチッシュスチール」英軍代表部提供の映畫會を開催のこと，承認。
4. 昭和 25 年度第 1 回東京地方講演會 日時：25—4—1 (土) 14時～16時 30 分。會場：東大第一工學部第 2 號館大講堂 講演「米國に於ける冶金工場管理について」連合軍司令部天然資源局冶金課長 R. L. Kidd 氏，通譯 堤英三郎氏，映畫「アロイスチール」E・S・S 御提供。出席者 500 名。
5. 昭和 25 年度第 2 回東京地方講演會 日時：25—4—3，17時～18時 30 分，會場：東大第一工學部第 2 號館大講堂 映畫「ブリチッシュスチール」英軍代表部提供 出席者 600 名。
6. 昭和 25 年度第 4 回理事會 日時：25—4—11 (火) 16時 30 分～18時 30 分，會場：協會々議室，出席者：(會長)田中清治，(理事)岡本正三，佐々木吉備三郎，松永陽之助，(監事)笹部誠，(前會長)俵國一，松下長久，三島徳七，山岡武，(常務委員)石原善雄，俵信次，森龍郎，(主事)金谷三松。報告事項 (1) 第 35 回通常總會，(2) 第 39 回講演大會，(3) 昭和 25 年度第 1 回東京地方講演會，(4) 昭和 25 年度第 2 回東京地方講演會(以上記事前述の通り)。協議事項 (1) 新年度役員の方擔事項の件 決定，(副會長)富山英太郎，(庶務)芥川武，太田慶藏，(會計)松永陽之助，石原善雄，(編集)岡本正三，島村哲夫，菊池浩介，俵信次，(研究調査)繪野澤喜之助，佐々木吉備三郎，研究部會委員長從來通り。(2) 學術會議選舉準備の件 決定。會員票作製資料を會員へ照會しその上にて 5 月 1 日を期し會議にて決定のこと。(3) 入退會者及會員異動の件 承認。(4) 昭和 25 年 3 月分收支決算の件 承認。(5) 秋季大會に對する準備の件 決定。三島前會長に御依頼し上京中の北海道大學幸田成康氏と相談の上基礎案作製のこと。